



一般社団法人 日本スイミングクラブ協会

JSCAガイドライン改訂について

～ 「感染拡大防止」と「社会経済活動」の両立に向けて ～

2022年12月現在、世界中で主流となっている新型コロナウイルスは、重症化リスクの高いデルタ株と置き換わったオミクロン株です。オミクロン株は、重症化リスクは比較的低いと言われていますが、非常に高い感染力を有しています。第7波による国内感染者も10月には漸く落ち着きを見せたものの、現在、感染者数は再び増加傾向に転じ、この冬以降の新型コロナウイルスの感染拡大においては、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されています。

政府は、9月8日付「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の「With コロナに向けた政策の考え方」として、新たな行動制限を行わず「感染拡大防止と社会経済活動の両立」をより強固に推進していくことへ方針の変更を行いました。とはいえ、私たちの業界は人を介する事業である以上、感染防止を徹底するため最善を尽くすことが求められます。感染症対策のポイントとして「感染源を断つこと」・「感染通路を断つこと」・「抵抗力を高めること」の3つが挙げられていますが、そのためには、事業者・従業員・お客様の相互努力が不可欠です。

この方針転換を基に、内閣官房「新型コロナウイルス等感染症対策推進室」より業種別ガイドラインの見直しが求められました。主な改訂は、社会経済活動活性化のための規制緩和ですが、JSCAガイドラインでは以下の指摘事項について見直しを行いました。

本旨ご理解のうえ、新たなガイドラインに添った感染防止対策をお願い申し上げます。

- マスクを外してよい場面等を記載（屋内・屋外において、要件を満たせばマスクを外してもよい）
- 対人距離の確保に関する修正（マスク着用等を前提に「人と人とは触れ合わない距離での間隔」と変更）
- 共用部の消毒について（設備や物品等につき、「こまめな消毒」を「業態を踏まえた適度な頻度」に変更）
- ハンドドライヤーについて（特段の条件が不要となったため使用の制限を削除）
- 大声を出したり、対面したりする際の感染対策について（短時間での対面においてはパーテーション設置等を求める記載を削除）
- COCOAについて（年内を目処に機能停止を行う予定であることから削除）
- 濃厚接触者の特定について（濃厚接触者の特定が前提となっている記載を修正、及び所轄保健所との連携体制を削除）

以上